**R6年度　竜北東小学校**

**（１）研究主題**

**ふるさとを見つめ 他者とのかかわりの中で**

**主体的に表現・発信しようとする子供の育成**

～起業体験活動と学び合いを生かした授業づくりを通して～

**（２）主題設定の理由**

ア　教育の今日的課題から

新学習指導要領において，これからの子供たちに求められる資質・能力として（１）「自立した人格を持つ人間として，他者と協働しながら，新しい価値を創造する力」（２）「主体的に学ぶ力」（３）「豊かな人間性」が示されている。これらの育成すべき資質・能力の３要素として①知識及び技能が習得されるようにすること②思考力，判断力，表現力等を育成すること③学びに向かう力，人間性を涵養することが挙げられている。これらの育成のために各学校では，主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組むことが求められている。

さらに，今日的課題の一つとして，コロナ禍で奪われてきた他者との関わりや子供たちの社会参画の機会をどのように回復させていくか，また，そのことにより下がってきている主体性をどのように高めていくか，「社会の開かれた教育課程」の実現がまさに急務であり，各学校において地域の人的・物的資源を活用することが望まれている。本校ではこれまで取り組んできたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進をさらに発展させることで解決できると考える。

イ　本校の教育目標から

本校では，校訓である「学ぶ力，たくましい心身，豊かな心」を受けて，「『人にやさしく・がまん強く・しっかり勉強！一人ひとりが輝く竜東っ子』～ふるさとを愛し,夢に向かってよりよく生きる児童の育成～」を教育目標としている。

子供が生きる力を身に付けるために，①自他の命・夢を大切にし,仲良く助け合う　②感謝の気持ちをもち,あきらめずにやり抜く　③自ら学び考え,進んで挑戦する児童の育成を目指したものである。その実現に向けて育てたい３つの資質・能力を「ひ・が・し」をキーワードに学校・家庭そして地域で共有している。「ひ」は人にやさしく（他者と協力する力），「が」は我慢強く頑張る（継続する力）,「し」はしっかり勉強（自ら行動する力）である。

子供がふるさとで活躍するために，コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を活用した起業体験活動を通して地域のよさ（人・もの・こと）に出会い,関わることで，ふるさとへの愛着を深めさせることができる。また，様々な活動を通して，一人一人に達成感や自己有用感の育成につなげることができる。さらに体験活動と教科等の指導を往還させた授業を実践することで，児童の実感を伴った学びを実現することができる。学校における教育活動において「ひ・が・し」のキーワードを基に子供たちの資質・能力を高めていくことで，学びに向かう力や将来にわたって学習し続ける基盤づくりにつながるものと考える。

ウ　本校児童の実態から

Ｒ５年度熊本県学力・学習状況調査の結果から，国語科においては，２年・３年・５年・６年において目標値を上回る結果となった。特に，６年生は目標値を大きく上回っている。領域別に見てみると，「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関すること」については，目標値を上回っている学年が多い。「書くこと」については，全ての学年で目標値を大きく上回っている。

　　　一昨年度，改善が見られた「読むこと」については，課題が見られる結果となった。一昨年度の取組であった「音読タイム」については，昨年度はじめに学級裁量の時間に変更した。２学期から再度開始したが，課題となった。成果が見られた取組については継続することの大切さが結果として表れた。「書くこと」については，全学年良好な結果がみられたことは大きな成果だと言える。課題として「話すこと・聞くこと」「読むこと」が挙げられる。学校総体として，「話し方・聞き方」等について共通理解を図り，共通実践を行い，克服していく取組が必要である。

算数科においては，５年・６年においては目標値を大きく上回っている。ＩＣＴ機器を活用した日々の授業実践，百ます計算大会の取組など学力充実のための取組を通して，基礎的な力が向上し，活用する力も身に付いてきている。特に，５年は基礎・活用，観点の項目において，６年においては，基礎・活用，領域・観点のすべての項目において目標値を大きく上回る結果となっている。低学年では課題が見られるものの，少人数指導が始まる３年から徐々に力を付け，その成果が５年以上の学年で大きく表れた結果と考えられる。今後も，少人数指導の強みを活かしながら，個に応じたきめ細やかな指導を学校総体で継続して行い，子供たち一人一人の力を伸ばしていくことが求められる。

本校ではこれまで「ふるさとの人・もの・ことと出会う『起業体験活動』を中心とした学習」，「『ひ・か・わ』型学習を基にＩＣＴを活動した授業づくり」について研究を進めてきた。今年度は，これまでの研究や実践を引き継ぎながら，さらに深くふるさとを見つめ，児童が他者との関わりの中で主体的に表現・発信しようする児童を育成するために，起業体験学習と学び合いを生かした授業づくりの視点から研究を深めることとした。

**（３）主題設定について**

ア「ふるさとを見つめる」とは

　 　　本校の児童はこれまで，校区内にある児童にとっては身近で当たり前の「人・もの・こと」に体験活動を通してたくさん出会い，そのよさを知ることができてきた。さらに，ふるさとを見つめることは，自分自身がどのように「人・もの・こと」と関わってきたかと自ら問うことにつながる。ふるさとに対する誇りや愛情を育てることができると考える。

イ「他者とのかかわりの中で」とは

起業家的資質と能力として，情報収集・分析力，判断力，実行力，リーダーシップ，コミュニケーション力等が挙げられる。この中でも特に本校児童に付けたい力は，「コミュニケーション力・発信力」である。今後，自分の考えを持ち，伝えることはもちろんのこと，相手の考えを受け入れたり，お互いの考えから新しいものを生み出したりしていく力が求められる。子供たち同士，子供と地域の人，子供と家族など様々な人とのかかわりの中でコミュニケーションを図り，つながりを深め，豊かにしていくことが大切であると考える。

ウ「主体的に表現・発信する」とは

変化の激しい予測困難な時代の中，失敗を恐れないチャレンジ精神や優れた自己表現ができる人材が求められる。物事への達成感は，主体性があるからこそ実現されるものである。学校という小さな社会の中だけでなく，地域という広がった社会での関わりの中で，表情や言葉・行動などで表現・発信する力を育成することが大切であると考える。

**（４）研究の仮説**

　そこで，次のような仮説を設定した。

（１）起業体験活動を通した，ふるさとの「人・もの・こと」との出会い・挑戦・発信する機会や場を設定することで，主体的に他者と関わろうとする子供を育成することができるであろう。

（２）「ひ・か・わ」型学習を基盤に，発達段階に応じた協働的な学びの場がある授業を行えば，主体的に表現・発信する子どもを育成することができるであろう。

**（５）研究組織**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 校　長 | |  | | | | | |
|  | | | | | | |
| 教　頭 | |  | | | | | |
|  | | | | | | |  | | | | | | |
| 全　体　会 | | | | | | | | | |  | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | |  | | | |
| 専　門　部　会 | | | |  | | | | 学　年　部　会 | | | |  |
| 授業部会 | | 起業体験部会 | | 低学年部会 | | 高学年部会 | |
| ◎畑中　吉本  宮地 藤田  　長田　山本 | | ◎西　　今田  　関本　福嶋  　福山　瀧本 | | ◎今田　宮地  　長田　福嶋  　福山　瀧本 | | ◎西　　吉本  藤田　関本  　畑中　山本 | |
|  | | | | | | |  | | |
|  | | | | | | |
| 研究推進委員会  （校長，教頭，教務主任，研究主任，各部長） | | | | | | | | | |  | |

**（６）研究の構想図**

**学校教育目標**

**人にやさしく　がまん強く　しっかり勉強！**

**一人ひとりが輝く竜東っ子**

～ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる児童の育成～

研　究　主　題

**ふるさとを見つめ** **他者とのかかわりの中で**

**主体的に表現・発信しようとする子供の育成**

～起業体験活動と学び合いを生かした授業づくりを通して～

～「ひ・か・わ」型学習の充実とICTの効果的な活用を通して～

**研究の仮説**

①起業体験活動を通した，ふるさとの「人・もの・こと」との出会い・挑戦・発信する機会や場を設定することで，主体的に他者と関わろうとする子供を育成することができるであろう。

**家庭，地域との連携・協働**

②「ひ・か・わ」型学習を基盤に，発達段階に応じた協働的な学びの場がある授業を行えば，主体的に表現・発信する子供を育成することができるであろう。

視点１ ふるさとの人・もの・ことと出会う起業体験活動を中心とした学習

視点２ 「ひ・か・わ」型学習を基盤とした学び合いの授業づくり

（１）主体的な学びを支える学習の基盤づくり

　・学習規律づくりのための共通実践

　・協働的な学びのための場づくり

（２）「ひ・か・わ」型学習を基盤にした授業づくり

・めあてや学習課題設定の工夫

・表現力や発信力を高め，対話的な学びを実現するための効果的なICT機器の活用

・「き・な・こ」のキーワードによる主体性を高めるためのふり返り

（１）キャリア教育の視点に立った体験活動の工夫

　・自ら主体的にふるさととかかわる地域人材を生かした効果的な体験活動の場の設定

・キャリアパスポートを活用したふり返りと評価

（２）自己有用感や自尊感情を育むための活動の工夫

　・他者との関わりを大切にするためのカリキュラムマネジメントの構築

・自己有用感や自尊感情を高めるための縦割り班活動の充実

OJTを推進するための日課の工夫と授業技術を互いに高め・伸ばし合う教師集団づくり

学習基盤

子ども達の力を伸ばす家庭・地域との連携

認め，励まし合う学級の雰囲気づくり

**校内研修計画**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **回数** | **月** | **日** | **曜** | **資質能力** | | | **研修内容** | | | | **担　当** |
| **１** | **５** | **８** | **水** | **素養** | | | **本年度の研究について** | | **アレルギー対応研修** | | **吉本・山本** |
| **２** | **15** | **水** | **素養** | | | **起業体験学習について** | | **人権同和教育に関する研修①（人権レポート研）** | | **西・瀧本** |
|  | **29** | **水** |  | | | **中学校区人権レポート研修会** | | | | **全員** |
| **３** | **６** | **12** | **水** | **素養** | | | **地域理解研修【校区内の現地学習】** | | | | **今田** |
| **４** | **19** | **水** | ＩＣＴ | **学習指導** | | **学習構想案について** | | **情報教育に関する研修** | | **吉本・宮地** |
| **５** | **26** | **木** | **学習指導** | | | **（１年）授業研/（６年）授業研**  ***【「ひ・か・わ」型学習】*** | | | | **今田・吉本** |
| **６** | **７** | **10** | **水** | **特別支援** | | | **特別支援教育についての研修** | | | | **福嶋** |
|  | **17** | **水** | **素養** | | | **スクールロイヤー研修（講師招聘）** | | | | **吉本** |
|  | **８** |  | | **特別支援** | | | **東光保育園・吉野保育園・ダーナ保育園訪問** | | | |  |
|  |  | | **素養** | | | **町人権教育研修会** | | | |  |
|  |  | | **ＩＣＴ** | | | **町情報教育研修会** | | | |  |
| **７** | **９** | **4** | **水** | **素養** | | | **夏季休業中の研修復講** | | **2学期の取組について** | | **各担当・吉本** |
| **８** | **11** | **水** | **学習指導** | | ICT | **全学調分析** | | **情報教育に関する研修** | | **畑中・宮地** |
| **９** | **18** | **水** | **学習指導** | | | **（低特支）授業研 /（高特支）授業研**  ***【協働的な学び・個別最適な学び】*** | | | | **福嶋・関本・吉本** |
| **１０** | **25** | **水** | **素養** | | | **防災教育** | **起業体験について【いきいき感謝祭】** | | | **藤田・西・今田** |
| **１１** | **10** | **9** | **水** | **学習指導** | | | **（３年）授業研　/（理科）授業研**  ***【ICT機器を効果的に活用した授業】*** | | | | **宮地・畑中・吉本** |
| **１２** | **16** | **水** | **ＩＣＴ** | | | **情報教育に関する研修** | | | | **宮地** |
| **１３** | **23** | **水** | **生徒指導** | | | **子どもたちが主体となって活躍する学級経営について** | | | | **西・吉本** |
| **１４** | **11** | **6** | **水** | **素養** | | | **人権同和教育に関する研修②** | | | | **瀧本** |
| **１５** | **13** | **水** | **学習指導** | | | **（２年道徳）授業研　/（４年）授業研**  ***【めあてや学習課題の工夫】*** | | | | **長田・藤田・吉本** |
| **１６** | **20** | **水** | **生徒指導** | | | **生徒指導に関する研修** | | | | **西・吉本** |
| **１７** | **27** | **水** | **学習指導** | | | **（算少人数）授業研　/（５年）授業研**  ***【振り返りや評価を生かした授業】*** | | | | **瀧本・西・吉本** |
|  | **29** | **金** |  | | | **町指定研究発表会（竜北西部小）** | | | | **全員** |
| **１８** | **12** | **11** | **水** | **学習指導** | | | **道徳の授業づくり（模擬授業）・評価について** | | | | **長田** |
| **１９** | **18** | **水** | **素養** | | | **論文作成について** | | **人権同和教育に関する研修③** | | **吉本・瀧本** |
| **２０** | **1** | **15** | **水** | **素養** | | | **性教育の授業について** | | **3学期の取組について** | | **福山・吉本** |
| **２１** | **22** | **水** | **素養** | | | **人権同和教育に関する研修④** | | **人権同和教育レポート作成** | | **瀧本** |
| **２２** | **29** | **水** | **素養** | | | **人権同和教育実践報告会（レポート研）** | | | | **瀧本** |
| **２３** | **2** | **12** | **水** | **学習指導** | | | **県学力調査の結果の分析** | | | **本年度の反省と次年度に向けて** | **畑中・吉本** |